

会議録

会議名	第2回南砺市上下水道料金検討委員会	
開催日時	令和6年11月18日（月） 13:30～15:00	
開催場所	南砺市役所302会議室	
出席者	委 員 出席12名 神山智美、戸成博宣、南田実、高田実、竹中雅司、山田智恵子 長田政哉、中川敬子、安居利浩、加藤耕一、中川一郎、杉本澄子 欠席なし 事務局 5名 野村ふるさと整備部長、池田上下水道課長、野村水道工務係長、竹原下水道業務係長、辻下水道工務係長	
傍聴者	なし	
会 議		
1 開会	池田課長	
開会の挨拶	神山委員長 第1回の議論では大変活発な話し合いをどうもありがとうございました。率直な感想といたしまして、南砺市は大変人材が豊富だなというところがございます。また公募委員の方も水道のご専門家であったり、環境にお詳しい方であったり、消費生活のエキスパートであったり大変人材豊富で、活発な意見交換がこれから期待できるのではないかと考えております。本日も活発なご意見交換及びスムーズな進行にご協力いただければと存じます。よろしくお願いいたします。	
2 南砺市上下水道事業の現状	【委員長】 それでは次第に従いまして進めてまいります。第1回検討委員会からさらに詳細な部分について、事務局よりご説明をいただきたいと思います。水道事業からお願いします。	
(1) 南砺市上下水道事業の現状	【事務局】 [資料に沿って水道事業の現状について説明]	
	【委員長】 水道事業の現状についてご説明いただきましたが、何かご質問等ございますでしょうか。	
	【委 員】 まず1ページ目、「経営維持に必要な10億円は確保して」と書いてあります。これはどこを見ればそれがわかりますか。	
	【事務局】 10億円につきましては、こちらの資料に載せていませんが、昨年度作成した経営戦略の中で、令和14年度の予定減価償却費の約2倍というところで10億円の内部留保資金を確保したいというところがございます。	
	【委 員】 そこで出された数字がここに出て来るとそういうことですか。	

- 【事務局】 はい。
- 【委員】 1 ページの一番下の方に事業経営に必要な費用が、水道料金収入だけでは賄えてない、そうだと思いますけれども、ではどうしているんですか。
- 【事務局】 表 1、経営指標ということで令和 5 年度では料金回収率 77.39% というところで、100%を超えないと事業経営できないんじゃないかということかなと思っております。こちらの足りない資金につきましては市の一般財源で賄っているというところでございます。
- 【委員】 一般財源で補填されているわけですね。
- 【事務局】 南砺市においては五箇山地域など山間部では、昔は簡易水道として位置付けておりましたが、平成 28 年度に水道事業に統合しました。旧簡易水道における赤字分について、市の一般財源から補填してもらっているということです。
- 【委員】 今のお話ですと、上水の方は問題ないということでしょうか。
- 【事務局】 上水におきましては、問題ないというわけではないんですけれど、改善傾向にあるというところでございます。
- 【委員】 主に簡水、旧簡水のところなんですね。
- 【事務局】 そうですね、市から補填されている一般財源に関しては旧簡易水道の赤字補填でございます。
- 【委員】 3 ページ目、料金体系、単一従量制という形になってますよね。これを採用された理由というのはわかりますか。
- 【事務局】 理由についてはまたお調べして、後日お答えさせていただきたいと思います。南砺市は 4 町 4 村で合併する際に、それぞれの旧町村において、水道料金について、それぞれ違う料金設定がされていた部分があったと思うのですが、それを合併協議の中で、お互いに持ち寄って南砺市になるにあたってどういった料金体系がいいかというようなところを、それぞれ分科会を作りまして、検討したという経緯があります。その中でどうしてこの料金体系となったかというのは、現在と同じ料金体系をとっていた自治体が多かったのか、経緯を改めて調べます。
- 【委員】 わかりました。またしっかり資料をいただければと思います。それから 5 ページ目、水量が減ってきているということがわかりますけども原単位、1 人当たりの水量の変化はわかりますでしょうか？もし細かいことがわからなければ、減ってきているのであればそれはどの程度減ってきてるかっていうことだけ教えていただければ。何をお伺いしたいかというと、単に人口が減ってるだけじゃなくて使い方が、水量が減ってきているのかどうかっていう

	ことを知りたい。 【事務局】 直近におきまして原単位、生活用の原単位水量ということで、1人当たり1日どれくらい使うかという水量でございますが、こちらにおきましては実績値において大きく変動はございません。 【委員長】 その他いかがでしょうか？ 【委員】 表1：類似団体平均 R4 と比較してほぼ一緒と言われたような気がするんですが、どこと比べて一緒だということでしょうか。 【事務局】 申し訳ございません、類似団体の平均が 212.40 円でこちらで説明させていただいたのが、R5 年と比較した数字でございます。 【委員】 数値の比較の仕方としてはちょっとあまり納得しにくい感じだとは思いますが、全国平均も R4 と R5 は一緒だという何か感触を得られているということですか。 【事務局】 R4 年度で比較させていただきますと、給水原価におきましては南砺市の方が平均より低いということでございます。供給単価におきましても、R4 年度で比較しても低いということになっております。それに伴って料金回収率につきましても低くなっているということです。市において給水原価は年々上がる一方、供給単価も上がっているというところでございます。R5 年度については確定できませんが、また調べさせていただきたいと思います。 【コンサル】 少し補足させていただきます。R3 年度の類似団体の平均値は表には現れてないんですけども、そちらを確認して R3 年度から R4 年度にかけての平均値の数値はほとんど変動がありませんでした。なので今、この類似団体全国平均を確認できる最新の年度というのが R4 年度なんですけれども、R5 年度もおそらく 3 年度から 4 年度にかけての傾向を見る限り、平均に関しては大きく変動はないだろうというふうに予測しております。それに対して南砺市の実績としては R5 年度分まで確認できていますので、R5 年度の最新年度と類似団体については R4 年について比較をさせていただいているという経緯です。 【委員】 皮肉な言い方をすれば、類似団体に対する南砺市の影響はものすごく少ないという感じになるんですね。 【コンサル】 はい、類似団体も今 30 数団体、南砺市さんと同等の団体がおりますので、この平均値はあくまでもその平均値になっておりますので、そこであまり大きな変動はないというのはあります。 【委員】 平均値というのは、単純に平均するのか、人口別に平均するのか。 【コンサル】 この類似団体というものがそもそも給水人口規模で分かれている類似団体になりまして、南砺市と同等規模の人口規模に対して
--	--

(2) 南砺市下水道事業の現状	
	【委 員】 ありがとうございました。
	【委員長】 その他いかがでしょうか？ ないようであれば次に参りたいと思います。次に下水道事業の現状についてお願いします。
	【事務局】 [資料に沿って下水道事業の現状について説明]
	【委員長】 ご質問ご意見等いかがでしょうか。
	【委 員】 1 ページ目に類似団体よりも高額であるっていう表現がしてありますけども、理由はどう考えられますか。処理原価とか使用料単価は、類似団体よりも高額である。現実そうなんだろうと思いますけども、それはどうしてだろうというふうにお考えですか。
	【事務局】 そうですね、やはり南砺市は大変広い地形でございまして、山間部と平野部と処理施設もマンホールポンプなどの数が多く、管の長さとかも大変長く、そういった下水道の処理施設等にかかる維持管理経費が多くなっているということがあるかなと思います。
	【委 員】 はい、わかりました。ありがとうございます。それと今度お願いなんですけれども、5 ページ目の料金水準と料金体系の状況で、グラフでは市町村名が大きく書いてありますけども、料金体系を水道のように、表の形で何か表現できませんでしょうか。動きはわかるんですけど、各市町村がどういう料金体系を持ってるっていうのを言葉でちょっと知りたいので、追加資料でお願いしたいです。
	【事務局】 そうですね、わかりました。
	【委 員】 最後に上水道と下水道の有収水量の比率のことですけれども、上水道より下水道は 1%少ないということですよ。この原因は何だと思われますか。
	【事務局】 水道ですと基本的に使われた水量が必ず料金として入ってくことになるんですけども、例えば漏水などがありますと、水道の場合は、漏水したひと月分だけを減免対象としております。 それに対し、下水道は、例えば、ちょっとずつ漏れていて何ヵ月かに渡って漏水していたときは最大 1 年分まで過去に遡って減免することもあります。また、下水管に流れ込まない使い方をされるような場合、例えば、冬場に雪を溶かしたり、農業に水道の水を使われるとか、そういうようなときに手続きをされますと、下水道料金については減免いたしますので、そういうこともこの有収水量が水道と比較し、少なくなることに影響しているのかと思われます。

【委 員】 はい、わかりました。ありがとうございます。

【委員長】 その他いかがでしょうか。

【委 員】 前からも思ってますが南砺市はすごく広いですよ。端から端まで1時間半ぐらいかかる程広いですけども、山の方でお住まいの方もいらっしゃるの、あまり言えませんが、はっきり言って効率悪いですわね。これだけ広くて、水道も下水道まで管理して、お金かかると思いますよね。素人で考えてもわかりますけれども人口が減ったら当然水道料金の収入は少ないですよ。全然つじつまの合わない話を今してるわけですけども、この足りない分を一般会計から補填するということですよ。この一般会計から補填する率を上げるということは可能性がありますか。例えば、一般会計からこれしか出せませんっていうのをもっと出していただく、市の方からもっと出していただいて、そして水道に関しては、もっと安く、みんなが安心して暮らせるようなことは考えられないでしょうか？もちろん収入、使ったものが負担するのが当然ですけども、足りなくなるのはもう目に見えてるわけですから、そこは一般会計でまず必ず補填するというような形にはできませんか。

【事務局】 確かに、上下水道の料金の負担を軽くするという意味では、一般会計から繰り入れをしてもらうという形をとれば、それだけ料金を上げずにもう少し頑張れるというところがあるんですが、ただ市の一般財源も限られております。財政サイドからは、限られた一般財源ですので、そこを福祉とか道路の修繕とか、色んなところに一般財源というのは活用できるわけで、もし上下水道の方にその配分を大きくすると、どこかで配分を減らさなければいけないところは必ず出てきます。そのバランスをどう取っていくかというところで、市全体の政策的なものを見て、財源をどこにどう配分していくかというのは、財政との協議になってきます。

【委 員】 水道ってすごく大事なんですよ。下手したら健康に影響ありますよね。だからむしろ最優先に市はやるべきですよ。そして水道料金が高くなったら、ここ住めないわって出て行く人もいるかもしれないし、マイナスの循環が生まれるともっと悪いので、水道に関しては、市は年間10億保障しろって言ってるわけじゃないんでしょう。私達が水道下水道を使って料金を払いますよね。そのお金だけではどのぐらい足りないんですか。

【委員長】 ご発言の途中ですが、質問の内容が投資とか財政のお話に入っているということであれば、議事を次に移してよろしいでしょう

3 財務分析	か？他これまでの現状および将来予測のところでご議論があれば、まずは伺いたいと思います。ここまでのところで現状把握していただいて、その上で予算ということにしたいと思いますが、いかがですか。ご意見等ございましたら挙手ください。でなければ、これまでのところではよろしいですか。 まずは事務局の説明を両方聞いてしまった方が効率良いかなと思いますので、水道事業と下水道事業について次第の3番、財務分析に参ります。資料の3章投資計画以降について、こちら両方とも先に事務局に説明いただいてよいでしょうか。その後、先ほどご発言いただいていた委員のお話を改めて伺った後、他の委員からのご意見を賜りたいと思います。 【事務局】 [資料に沿って上下水道事業の財務分析について説明] 【委員】 水道、下水道もそうなんでしょうけども投資計画、その以前までの内容につきましては、人口減、それから水量減、いわゆる減ってきてるという話があったにも関わらず、この投資計画の中で、それに対しての投資の内容を縮小するような内容は含まれていませんでしょうか？ 【事務局】 水道の方におきましては、6ページ2番の年次別整備計画というところでお示ししている通りでございますが、人口減少に合わせて料金収入も減るということで、工事費等整備費を見直したらどうかというお言葉かなと思います。 【委員】 私の質問してる内容は、例えばの話、管路が100という大きさがあったとして水量なり人口が減っていくと、当然それだけのものが不要ないという話になったときに、これが80とか70とかそういうようなことを踏まえての投資計画になっていれば、ある意味では投資額はおさえることができる。こういうことについて、その内容を今後の検討でもいいんですが、そういうお考えがあるのかどうかということをお伺いしたいです。 【事務局】 そういたしましたら6ページ第3章「1. 施設整備にかかる費用」の項目の一番の下の方に記載させていただいておりますが、散居村という地域特性から、1軒ごと、1軒から1軒までの距離が非常に長いということもあり、必要最小口径ということで消火栓をつけるにあたっては口径が75ミリ以上必要ということもございまして、なかなか件数が少ないからといって防災上の観点からダウンサイジングできないという状況にはあります。地域特性ということもあり、施設の統廃合を検討する必要があるということではあると思いますが、山間部におきましては各地域ごとに水源を持っております、集落ごと、集落と集落の間が非常に離れてい
---------------	---

	るということもあり、各水源についても各集落ぐらいしか賄えない水量しかないというところもございます。このような事情もあり、二つを一つに統合というのなかなか難しいという状況でありまして、委員さんのおっしゃることは大変よくわかりますが、なかなか難しいです。
【委 員】	ということは、今の段階では難しいとというふうにお考えだということですか。あと短く、2点。上水受水で砺波広域圏から受けていらっしゃると思うんですけども、これは責任水量制ですか。
【事務局】	砺波広域圏から取水している量につきましては、責任水量ということで基本水量、1日当たりの基本水量が定められておりまして1日当たり1万4850立方メートルという水量がございます。
【委 員】	最大に比べて何%ですか。
【事務局】	現在、市内において砺波広域圏水道事業所から受水している地域に関しては、その責任水量以下で賄っているところがございます。
【委 員】	最後に先ほど他の委員からもお話が合った件に関連して付け加えさせていただきます。水道の場合は、特別な料金制度になっておりまして、先ほど冒頭に独立採算制という話があったかと思うんですけども、一般会計から基本的にどんどん入れるということができない。そういうシステムになっているので、水道については、なかなか難しいかなというふうに思います。 他いかがでしょうか？
【委員長】	地域や、地域団体等からの代表者の方もご参集されております。地域のお声であったりとか地元の方にご説明する際にはこういうところの情報が欲しいなとかお言葉いただければと存じます。
【委 員】	施設の改修とか更新、修繕等あるかと思うんですけども、ハード的に更新していくってということもそうだが、管理をしていくというところで、維持管理をしやすくするといった点でコストを下げていくといったところの検討というのは、何か要素として入っているでしょうか？ 例えば漏水したときに昔の図面がちゃんとなってるかどうかというところの整理というか、いろんなところがあると思うんですけど、そういったことにかかるコストみたいなところもこの中には考慮されているのでしょうか。
【事務局】	維持管理に関するコストにおいてですが、効率的にということで、今年度、漏水調査にAIを使用して、漏水箇所の特定、可能性がある場所を特定し、闇雲に漏水調査を行わずにポイントを絞って漏水調査していくということで、その点に関してのコスト削減

を実施しているところでございます。

またマッピングということで、パソコン上に南砺市内の地図上に、水道や下水道のどこにどういう口径の水道管や下水道管が入っているかということや、どういう施設がその配水池や浄水場処理場から来ているかということをデジタル的に管理できるようにしております。漏水等で外へ出て対応する際に、職員が地図情報が入っているタブレットを持ち歩いて確認できるようにして効率的にさせていただいているところです。

【委員長】 その他よろしいでしょうか？

【委 員】 私は料金のことをちょっと聞きたいと思っております。実はこれで前回と2回の委員会で現状を教えていただいて、少し理解したかなと思いますけど、ほとんどの地域の方は知らないと思うんですよね、この現状を。以前新聞で、12町村平均48%の値上げという、こういう試算が出ていたと思うんですけど、これによると、南砺市は71%の値上げ、それも2027年度から検討しなければならないということで現状の3,190円がなんと5,446円になるというふうな記事を見てびっくりしたというのが現状なもので、知らない人がほとんどなんすよね、この現状を。いかにこのひどい状態かということを皆さん知らないのが現状だから、急に71%上げて言われてもなかなか納得できない。まして、高齢化、先ほど高齢者に対する配慮も必要云々って言われましたけど、高齢者が増えるのは現状、若い人が少なくなるのも現状で、それがひょっとしたら限界集落じゃないですけど、消滅可能性自治体に南砺市も入っていると以前新聞に出ていたりするこのような現状を、今後どういうふうに対策を考えていかれるのか。

この新聞の通りにやっていかれるのか、それとももうちょっと考えて、何か対策を練っていただけるのか、みんなで考えていくべき問題ではあると思います。それをどういうふうにPRしながら、どういうふうに浸透させていくのか。そういうことも大事なと思うのですか、いかがでしょうか？

【委員長】 重要なお提案であろうと思いますが、お応えできる範囲でお願いいたします。

【事務局】 今、ここ数年上下水道料金のことについてはマスコミの方で取り上げておりまして、私もその記事を見ました。

南砺市はやはり平均よりも高い引き上げ率でないと今後運営が難しいというようなことだとは思いますが。ただ、今の70何%と言うのは、一律同じ条件で今後何年か先まで安定して経営していくとなるとそういうことが必要になると思いますが、いきなり70

何%も2、3年後何年後かに上げるということだと、それは大変なご負担がかかるという話ですので、そういう部分で一度にそこまで上げることはできないが、こういったふうな上げ方であれば皆さんが納得していただけるかというところもご検討いただきたいところであります。

さらにその先まで考えますと、人口は今のところ増えるような見通しにはなっていないかとは思いますが、その都度そういったような検討が必要になってくるとは思います。いきなり何%上げる、新聞の記事になっていたところまでいきなり上げるというようなことは、おそらくできないのではないかという思いであります。そういった状況も勘案しながら、適切な料金体系というものをどうしていくかというところを、皆さんのご意見をいただきながら、検討していきたいと考えております。

【委員長】 その他いかがでしょうか。

【委員】 料金検討委員会ですので、料金のことが一番問題かと思えます。上水の方はR9年度までに料金改定が必要な見込みであるということでございます。一緒に下水のことも同じ時期かなと思えますが、このスケジュール的にはどれだけ上げるかっていうのはまだわからないと思えますが、いつまでに決めるのかということが一点わかれば、地域の方にもそんなような心づもりが必要かなと思えますので、わかる範囲で教えていただきたい。

【事務局】 スケジュールにつきましては、今後3回目以降の検討委員会にて、いろんな条件のもとに料金シミュレーションを行っていききたいと思います。その条件によってシミュレーションによって、いつぐらいの時期には、このくらい上げなければいけないとか、そういったような具体的な時期についてご検討いただければなというふうに思います。今の段階で何年に何%上げるとかそういったようなことではなくて、いろんな条件のもとにシミュレーションを行った中で、時期的にはこのあたりにこのくらいの引き上げが必要かなというようにご検討いただければというふうに思います。ただ一つの目処といいますか、今この資料の中では、R9年度あたりに赤字になるというようなことが大体見えてきているというところもありますので、その辺がまず基本になるかなというふうには考えておりますが、それがそのまま引き上げの時期になるかどうかというのは、そういったシミュレーションを通していろいろ検討した上で、ということになると思います。

【委員長】 その他よろしいですか。ご協力ありがとうございます。それでは次第4番その他へまいります。事務局からお願いいたします。

4 その他	【事務局】 [事務連絡について説明] 【委員長】 今ほどからのご説明等についてご質問ないようでしたら本日予定されておりました議事については以上となります。進行を事務局の方にお返しいたしたいと思います。 【事務局】 神山委員長さんどうもありがとうございました。それでは閉会にあたりまして、ふるさと整備部野村部長からご挨拶を申し上げます。 【部 長】 委員の皆様には長時間にわたり、いろいろなご意見やご質問いただきましてありがとうございました。 少子高齢化の問題は南砺市に限らず全国的な課題ではございます。市としましてもこの上下水道の料金改定にとどまらず、部を横断していろんな方面からこの対策に取り組んでいるところでございます。またそれを取り組みながらの計画も策定中ということでもありますので、全体的な観点からこれをとらえていければというふうに思っております。次回以降、上下水道料金について具体的な検討に入っていきたいと考えておりますので、忌憚のないご意見をいただければというふうに思っております。本日はどうもありがとうございました。
--------------	--